

平成 25 年度決算における利益処分額（当期総利益）について

1 平成 25 年度当期総利益の額

1, 292, 206, 235 円

2 平成 25 年度の当期総利益について（※以下、金額は対予算比で影響額）

平成 25 年度は、大学部門において教育・研究分野に対する積極的な施設設備を実施し、教育・研究環境の充実を図ったことや、附属 2 病院における市民が安心出来る地域医療への貢献として、高度で安全な医療を提供してきました。また、法人全体として電気料金やガス料金の値上げ等による光熱水費の大幅な増加に適切に対応するなど、**厳しい経営状況の中でも、大学部門においては教育・研究を実施するための外部資金獲得、附属病院・センター病院においては効率的・効果的な運用による診療収益の増収など、収益向上に向けた更なる取組**を行いました。

さらに、本法人の職員給与は横浜市の給与体系に準じておりますが、横浜市の支給見直し措置等に伴い、本法人においても見直しを行い、法人職員の給与支給減額措置や退職一時金制度の支給水準の引き下げなど人件費の削減等を行ったことにより、**前年度決算を上回る当期総利益を生み出すことが**できました。

25 年度における、具体的な取組としては、

- ・法人職員における**給与支給減額措置に伴う人件費の減**（約 3.1 億円）
- ・法人職員における**退職一時金制度変更に伴う退職給付債務（過年度積立額）の減少による臨時収益の増**（約 4.6 億円）
- ・受託研究費等の**外部資金獲得拡大による間接経費等収入の増**（約 0.6 億円）
- ・附属病院における**外来化学療法の増加及び出生前診断の開始**や、センター病院における**高額医薬品を必要とする患者数の増**などによる**外来診療収益の増**（約 12.0 億円） 等

<参考>

項目	附属病院			センター病院		
	指標	25 予算比	24 決算比	指標	25 予算比	24 決算比
病床利用率	86.5%	▲4.0%	▲4.3%	90.2%	±0%	+0.4%
平均在院日数（※）	15.1 日	△0.5 日	△0.6 日	13.8 日	△0.8 日	△0.3 日
手術件数	5,711 件	▲16 件	▲16 件	7,656 件	+456 件	+315 件
外来患者数／日	1,910 人	+5 人	+8 人	1,986 人	+32 人	+16 人
外来単価	14,637 円	+798 円	+910 円	15,978 円	+1,412 円	+1,254 円

（※）平均在院日数は、日数が短縮されると経営効率化が図られているという一つの指標であるため、短縮している場合には△で表示しています。

教員、職員それぞれの取組が実を結んだ結果、生み出された当期総利益であり、法人の経営努力から生じたものと考えております。

なお、上記の当期総利益については、本学が速やかに対応する必要がある、**教育、研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善の取組**に活用したいと考えております。